

都道府県番号	44
都道府県名	大分県

【都道府県教育委員会における学力向上フロンティア事業の取組】

I. 学力向上推進地域名及び学校数、学力向上フロンティアスクール数

学力向上推進地域名	小学校 (うちフロンティアスクール)	中学校 (うちフロンティアスクール)	計 (うちフロンティアスクール)
大分県 学力向上推進協議会	366校 (12校)	150校 (6校)	516校 (18校)

II. 学力向上推進協議会（地区協議会）の設置数及び域内の学校数

地区協議会名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
①中津教育事務所 学校間連携推進 地域連絡会	71校 (2校)	27校 (1校)	98校 (3校)
②別府教育事務所 学校間連携推進 地域連絡会	55校 (2校)	24校 (1校)	79校 (3校)
③大分教育事務所 学校間連携推進 地域連絡会	104校 (2校)	43校 (1校)	147校 (3校)
④佐伯教育事務所 学校間連携推進 地域連絡会	38校 (2校)	17校 (1校)	55校 (3校)
⑤竹田教育事務所 学校間連携推進 地域連絡会	47校 (2校)	16校 (1校)	63校 (3校)
⑥日田教育事務所 学校間連携推進 地域連絡会	51校 (2校)	23校 (1校)	74校 (3校)

III. 都道府県教育委員会としての支援策（実践研究の成果の普及方策の構築、指導資料の作成 等）

○地区別協議会に対して

<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会（学校教育課）の参事及び指導主事の2名が参加し、趣旨の説明・徹底及び学力向上の取組に関する指導・助言を行っている。 ・フロンティアスクールの発表、学力向上の方途についての協議を実施するようにしている。（年間3回） ・フロンティアスクールの研究の成果をもとにした指導資料を作成中であり、全教職員に配布し成果の普及を図る予定である。 ・県単独の事業である教育課程フロンティア推進事業（研究校6校）による研究成果等を普及し、学力向上フロンティアスクールとの協力体制づくりを図っている。

○域内の学校（学力向上フロンティアスクール含む）に対して

- ・指導資料にまとめたフロンティアスクールの実践研究の成果を県内の全教職員に配布し、学校訪問の際に説明し、活用を促していく予定である。
- ・年間4回の学校訪問（指導主事：学校教育課、教育事務所、市町村教育委員会）による指導・助言及び各フロンティアスクールの情報提供を行っている。
- ・学校間連携推進地域連絡会を有効活用させ、近隣の学校と連携を図るようになっている。

IV. 学力把握のための都道府県としての取組について

- ・各フロンティアスクールには、標準学力検査の実施を促しており、学力の客観的な把握に努めるように指導している。
- ・全県的な学力調査については、現在検討中である。

V. 学力向上推進協議会について

○開催時期（参加対象）

- （第1回）10月（学校教育課参事及び指導主事、各教育事務所学校教育指導課長）
 - （第2回）1月（学校教育課参事及び指導主事、各教育事務所学校教育指導課長）
 - （第3回）2月（学校教育課参事及び指導主事、各教育事務所学校教育指導課長）
- *昨年度は、5回実施したが、今年度は実施回数が減少した。来年度は、5回は実施する予定である。

○テーマと主な協議内容（協議の中で提示された成果や課題など）

- （第1回）「テーマ：確かな学力のとらえ及びフロンティアスクールの取組状況」
 - ・主な協議内容
 - ・フロンティアスクールの取組状況、課題
 - ・地区別協議会（学校間連携推進地域連絡会）での成果と課題
- （第2回）「テーマ：学力の向上を図る方途について」
 - ・主な協議内容
 - ・フロンティアスクールの取組状況、課題
 - ・各フロンティアスクールにおける標準学力テストの実施状況及び結果
- （第3回）「テーマ：今年度の成果と課題及び来年度の取組について」
 - ・主な協議内容
 - ・今年度の協議内容等の反省及び来年度の計画について
 - ・協議会の成果及び各小・中学校への成果普及度
 - ・各小・中学校の学力向上への取組の変容

VI. 実施計画書において示した「事業評価の実施方法・内容」とその進捗状況

(事業評価の実施方法・内容)

- ・年間4回の指導主事による学校訪問での評価
- ・進捗状況調査票（標準学力検査を含む）及び報告書等による評価
- ・学校間連携推進地域連絡会における発表等による評価

(進捗状況（成果、課題等）)

- ・年間4回の校内研修会における学校訪問での指導・助言を行いながら、指導主事による評価を行い、次回訪問時の指導・助言に生かしている。
- ・進捗状況調査表の提出を依頼し、研究の成果を的確に評価させ、次年度に繋げていくようにしている。
- ・報告書の内容を吟味し、研究の進捗状況及び次年度の方向性の修正を行っている。
- ・学校間連携推進地域連絡会での発表内容により、研究の成果及び課題を把握し、指導・助言を行っている。

【地区別協議会における特色ある取組】

【実践研究の成果の普及方策】

《教育事務所主催》

学力向上フロンティアスクールの取組について発表・協議を行い、基礎・基本の定着を図るためのきめ細かな指導の工夫改善の参考にした。

《佐賀関町研究会主催》

- ・「研究内容の環流と各教科の基礎・基本のとらえ」のテーマで研修。
(佐賀関町研究会研究主任・研究部長合同研修会)
- ・「学力」向上フロンティアスクールの指定を受けて」のテーマで研修。
(佐賀関町研究会校長会・教頭合同研修会)
- ・「学力向上フロンティアスクールの指定を受けて、本校が目指している取組」のテーマで研修。(佐賀関町研究会地教委・校長合同研修会)

【地区内の学校に対する支援策】

《教育事務所主催》

きめ細かな指導事例や学習結果データ（定期的なテスト等）の分析方法等について紹介し、個に応じた指導の充実を促した。

(第1回、3回学校間連携推進地域連絡会)